



未来を創る人づくり

埼玉県中学校長会 会長 宮本 典行

令和8年度埼玉県中学校長会の活動が、研究主題「『豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会を創る担い手』を育てる中学校教育」のもと、各地区中学校長会をはじめ、関係者の皆様方の多大なる御尽力と御協力によりスタートできましたことに、深く感謝申し上げます。

今日、深刻さを増す少子化・人口減少や高齢化、協調と競争、分断と対立が交錯し混迷の度を増すグローバル情勢、気候変動に伴う自然災害の激甚化、さらには生成AIをはじめとするデジタル技術の急速な発展など、社会や経済の不確実性はこれまでになく高まっており、まさに予測困難な時代を迎えています。「人生100年時代」の到来や労働市場の流動化、マルチステージへの転換を背景に、私たちは生涯にわたって主体的に学び続け、自らの人生を舵取りする力を身に付ける必要性に迫られています。

また、芸術やスポーツを通じた豊かな心身の育成を含め、多様な個人が幸せや生きがいを感じると同時に、地域や社会全体でその豊かさを享受できるよう、我が国に根差した「ウェルビーイング (Well-being)」の向上を図ることが強く求められています。子供たちが社会の中核として活躍する2040年代を展望するとき、一人一人が豊かで幸せな人生を送り、持続可能な社会の実現するために、学校教育の果たすべき役割はますます大きくなっています。

現在、国においては次期学習指導要領の改訂に向けた議論が進められており、その基本的な考え方として「『主体的・対話的で深い学び』の実装」「多様性の包摂」「実現可能性の確保」の3つの視点が示されました。これにより、多様な他者と協働しながら、民主的で持続可能な社会の創り手を育成することが改めて求められています。

令和6年度に策定された「第4期埼玉県教育振興基本計画」では、「豊かな学びで未来を拓く埼玉教育」を基本理念に掲げています。本計画において共通の視点である「誰一人取り残されない共生社会の実現に向けた教育の推進」や「教育デジタルトランスフォーメーション (DX) の推進」を踏まえ、本県の中学校教育においても、「夢や志、豊かな心をもちつつ、社会の激しい変化に対応して、主体的に社会に関わり、未来に向けて新たな価値を創造できる力」を確実に育成していかなければなりません。

私たち中学校長は、こうした国や県の教育施策の方向性を踏まえながら、学校経営の責任者として、変化の本質を的確に捉え、不易と流行の視点を大切にしつつ、新たな教育課題に中長期的な展望をもって取り組んでいかなければなりません。そのためには、会員相互が深くつながり、学校経営上の課題や悩みを共有し、知恵と経験を結集しながら、実践的な研究と研鑽を重ねていくことが重要です。

創立以来 70 有余年にわたり、本会を支えてこられた諸先輩方の志と伝統を受け継ぎながら、令和の時代における学校教育の諸課題に果敢に挑戦し、埼玉県の中学校教育のさらなる充実・発展に努めてまいります。会員の皆様をはじめ、関係各位の一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。